

## 1 検討状況

- (1) 整備検討委員会 (委員長：副市長) (5月～8月計4回開催、視察含む)
- (2) 市民アンケート調査 (8月実施：回答数 869 件、中学生以上無作為 2,000 人)
- (3) 高校生アンケート調査 (8月～9月：回答数 694 件、市内 5 校)
- (4) 市民ワークショップ (9月～10月全3回実施：延べ 73 人参加)
- (5) 高校生ワークショップ (10月7日実施：酒田光陵高等学校×東北公益文科大学)
- (6) 市民団体等との意見交換 (随時：子育てママ、図書館ボランティア団体、大学生等)

## 2 整備検討委員会で意見されている主な視点

- |  |  |
|--|--|
| <p>(1) 人々が集う、集いやすい、交流する場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少社会下だからこそ、幅広い世代（幼児～高齢者）が集まり、つながる場</li> <li>・本離れの若い世代向けのサービスのあり方</li> <li>・開館時間のあり方</li> <li>・子育て支援サービス</li> </ul> <p>(2) 現図書館の強みをブラッシュアップしての図書館機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンスの充実</li> <li>・図書館機能の情報発信</li> <li>・思わず手に取りたくなるディスプレイ</li> </ul> <p>(3) 市ゆかりの偉人（吉野弘等）の紹介展示室</p> <p>(4) 多様な空間ニーズへの対応（静かと賑やか空間分け、居心地、寛ぎ、飲料可能、Wi-Fi 等）</p> | <p>(5) 広域圏を意識した観光等の情報発信、交流、体験の場（オール庄内、北庄内等）</p> <p>(6) 公共交通の利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、観光客、中高生等</li> </ul> <p>(7) 小中高等学校や大学、分館との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書との連携、差別化等</li> </ul> <p>(8) 人材育成、活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民（将来の担い手、教養の向上）</li> <li>・図書館ボランティア育成</li> <li>・新施設で働く職員（コンシェルジュ）育成等</li> </ul> <p>(9) 利用者にやさしい施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書架高さ、バリアフリー等</li> </ul> |
|--|--|

## 3 市民ワークショップの結果

- (1) 第1回「新しい施設に必要な機能、欲しい機能を考えよう」
- 意見キーワード（一部）
- ・ライブラリーセンター（自由利用会議室、パソコン使用可、人材の充実、専用レファレンス）
  - ・観光情報センター（伝統工芸品展示・紹介スペース、QR コードの観光説明やマップガイド）
  - ・広場・駐車場・バスベイ（小さい子どもが遊べる場所、季節の花が咲く、時間案内表示）
  - ・カフェ（小さい子ども連れが気軽に行きやすい雰囲気、地産地消メニュー）
- (2) 第2回「酒田らしさを施設に活かそう」
- 提案アイデア（一部）
- ・観光情報センター（庄内の四季の映像を流し、山居倉庫・北前文化について知るイベント）
  - ・広場（酒田の特産フェア）
  - ・ライブラリーセンター（光丘文庫ができた日を図書館の記念日とし、イベントを開催）
- (3) 第3回「新しい施設の使い方を考えよう」
- 提案テーマ（一部）
- ・酒田を知り、好きになる学びの場
  - ・学生が時間を有効利用できる学びの場
  - ・小さい子が安心して遊べる場
  - ・子育て情報を共有し相談できる場
  - ・インパクトのある観光情報センター（ハード）
  - ・積極的な情報発信。検索でなく、拡散で伝える
  - ・おいしくて、お洒落で、落ち着けるカフェ
  - ・集客イベントのできる場+駅前の交流の拠点

## 4 市民アンケート調査の結果・傾向（分析）

- |   |   |
|---|---|
| <p>(1) 現図書館の利用割合が全体的に少ない。<br/>「利用無」が約5割、「年数回」が約3割</p> <p>(2) 「利用無」の理由の上位3つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①本は購入する</li> <li>②本をあまり読まない</li> <li>③忙しい</li> </ul> <p>(3) 現図書館に求める機能充実の上位3つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①居心地の良い空間</li> <li>②書籍、雑誌等</li> <li>③交通利便性</li> </ul> <p>(4) 新施設に求める機能の上位3つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①無目的で気軽に立ち寄れる</li> <li>②くつろぎ</li> <li>③飲食可</li> </ul> <p>(5) 閉館時間の延長を望む回答が多い。<br/>「午後9時」が約4割、「午後8時」が約3割<br/>職業会社員が突出して「午後9時」を希望</p> | <p>(6) イベント企画や施設運営等の参画意欲が高い。<br/>「参画してみたい」が約6割</p> <p>(7) 現図書館「利用無」、中高大学生、20歳代の回答から、読書習慣への動機付けの取組みと本そのものだけでなく魅力づくり（イベント等）が必要。</p> <p>(8) 現図書館の定期的利用者の回答から、「図書の充実」「静かな読書空間」と合わせて、「居心地の良い空間」「無目的で気軽に立ち寄れる」も高い。</p> <p>(9) 自由意見は「駐車場」に係る記載が最も多く、交通利便性ニーズが高い。</p> |
|---|---|

## 5 高校生アンケート調査・高校生ワークショップの結果・傾向（分析）

- |   |  |
|---|--|
| <p>(1) 高校生アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 図書の充実よりも、「ネット環境充実」「飲食可能」等を求める回答が多い。</li> <li>② 漫画の充実の回答が、男性では高い。</li> <li>③ 自由意見             <ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ（価格・雰囲気が中高生も入店しやすい）を求める意見が多い。</li> <li>・静かと賑やかスペースのメリハリや買い物・友人と遊べる場所の意見も多い。</li> </ul> </li> </ul> | <p>(2) 高校生ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 図書館に行かない理由<br/>「静かすぎる」「読みたい本無い」「飲食不可」「自宅遠い」等</li> <li>② 新施設に求めるもの<br/>「カフェ」「Wi-Fi」「漫画」「若者向け本」「運動できる」「イベント会場」「ゲーセン」「アニメグッズ店」等</li> </ul> |
|---|--|

## 6 市民団体等との意見交換

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てママさん</li> <li>・読み聞かせボランティア（あさの葉会）</li> <li>・酒田商工会議所情報・サービス部会</li> <li>・読み聞かせボランティア（絵本の部屋）</li> <li>・（社）子どもの読書サポートアシード</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・松陵学区コミュニティ振興会</li> <li>・障がい者福祉会</li> <li>・東北公益文科大学 学生</li> <li>・点字読書会</li> <li>・市老人クラブ連合会</li> </ul> |
|---|--|

## 7 今後の予定

- 平成 28 年 11 月 市民団体等との意見交換（予定）コワーキングスペース利用者、高校図書司書
- 平成 28 年 12 月 基本計画案の策定、提示（整備検討委員会、教育委員会、議会等）
- 平成 29 年 1 月 基本計画の決定